

start!>

あなたの可能性が
動き出す

笛吹高校校長 廣瀬 志保



笛吹高校は、創立から130年、現在の校名になってから16年を迎える、歴史と伝統のある学校です。

「生涯を通じて生きる力の基礎となる『主体的に学ぶ力』を育て、地域に根ざし、地域に貢献し、地域のリーダーとなる人材を育てる」というスクールのミッションのもとで学んだ多くの卒業生が地域や社会のさまざまな場面で活躍しています。

令和5年度からは文部科学省の研究開発学校として、1・2年生は週3時間、3年生は週1時間、地域課題の解決に取り組む学校設定科目「笛吹グローバル」に取り組み、理論だけでなく、実際に活動することを通して周囲の人と協働したり、自らの行いを振り返り改善したりする経験を積んでいます。さらに令和6年度

からはDXハイスクールにも指定され、生成AIやデータサイエンスなど、最先端の知識や技術についても学びを深めています。

自分の「好き」や「興味」をより深く掘り下げていくことで、自分の生き方や将来の姿が見えてくることもあります。進学はもとより、これからの社会で必要とされる力を育む3年間にしてほしいと考えています。

また、勉強と部活動を両立しながら、日本や世界で活躍している生徒もたくさんいます。前向きに挑戦し、輝いている生徒たちの声を、この『Peach Blossom』を通して皆さんにお届けします。



NHKの番組、「ひむバス」の2025年9月4日の放送回に、 笛吹高校の皆さんが出演しました!



鵜飼は小舟に乗って行うのが一般的ですが、笛吹川石和鵜飼は川の中を歩きながら鵜を操る「徒歩鵜」という大変珍しい漁法です。800年以上の歴史と伝統があり、昔ながらの装束を身に着けて漁をします。頭には「風折烏帽子」に紺色で無地の「漁服」を着た上に「胸あて」付け、腰には「腰蓑」という出で立ちです。漁の仕方はいくと、操った鵜に魚を飲み込ませますが、完全に飲み込んでしまわないようにしておいて魚を捕ります。当然、網などで魚をする方が効率的なので、現在では衰退してしまいました。

しかし、笛吹川で行われる伝統の鵜飼を継承するために、自分たちなりに出来ることをしようとする思いから参加するようになりました。ちなみに、「うのみにする」の語源は鵜飼からきているそうです。

そして、今年のはNHK番組である「ひむバス」に出演をしました。滅多に無いテレビ出演の機会に、みんな緊張していましたが、それでも、大変さの中にも楽しさもあり、緊張していたのを忘れて、鵜の操作に集中することが出来ました。今回は特別に、バナナマンの日村さんにも参加していただき、全国に石和の鵜飼をアピールする良い機会にもなりました。



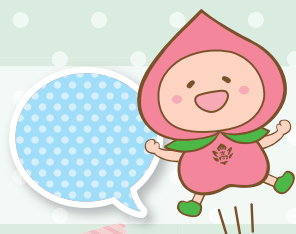
PB 笛吹高校通信 vol.15

発行 山梨県立笛吹高等学校 〒406-0031 山梨県笛吹市石和町市部3番地
ホームページ <http://www.fuefukih.kai.ed.jp/>
編集 笛吹高等学校 教務係 発行日 令和7年12月19日



笛吹高校ホームページ





笛吹高校に入学して



普通科 1年2組 清水 駿 山梨北中学校出身

私は、卒業後の進路に進学を考えていたので、普通科を志望しました。中学校時代と比べると、数学などはより難しく感じます。しかし、笛吹高校は大きな学校で生徒数も多く、とても賑やかで、この沢山の楽しい仲間がいれば、お互いに勉強を競い合いながら、より学力を付けていくことも可能だと感じ始めています。授業以外でも部活が盛んで、学園祭などの各種イベントもあり充実した毎日を過ごしています。



食品化学科 1年3組 梶原 永遠 浅川中学校出身

食品化学科では、食べ物を作る実習が多くあります。ソフトビスケットを作るなど、今までに経験がない授業もありとても新鮮です。農場での実習もあり、サツマイモを植えたり、トウモロコシの種を撒いたりもしました。授業以外ではバドミントン部に入部をしました。1年生ですが先輩方の指導のおかげで、インターハイ個人戦のシングルス山梨予選に出場することができました。今も次の試合にむけて練習を頑張っています。



果樹園芸科 1年4組 檜垣 龍生 塩山中学校卒出身

僕は果樹園芸科に入学しましたが、中学校とは全く違う学校生活に驚いています。この学科では農場での実習があり、実際に農場に行き農業を学びます。中学校に農業の授業は無く、初めて会う人も多い高校でも、経験豊富な先生方のおかげで色々な植物の栽培方法を教えてもらえます。教科書を使って教室で勉強をするだけでなく、このような実習ができるのがこの学科の良いところです。



総合学科 1年7組 角田 稟桜 浅川中学校出身

笛吹高校は生徒全員が明るくて、自分のやりたいことができる学校です。先輩はみんな優しく、学校での生活はものすごく楽しいです。それから、本校では全国でも唯一の教科である、「FF グローカル」という授業があります。自分の設定した課題に対して、フィールドワークでの調査や、地域の人へのインタビューなどで得た情報を検証して解決策を考えます。この様に、卒業後の将来にも役立つことが学べるのが大きな特徴です。



笛吹高校の部活動



植物研究部 2年4組 保坂 連太郎 勝沼中学校卒出身

昨年に引き続き、「ハマオモトヨトウの行動生態」についての発表で芸術文化祭賞に選ばれ、香川で開かれる総文祭に出場する機会を得ることが出来ました。香川に行く途中に神戸に立ち寄り、阪神淡路大震災についても学びました。災害の怖さや対策を知り、勉強になりました。高速バスで淡路島を經由し、香川に入りました。前日の練習の甲斐もあり、当日も滞りなく発表することが出来ました。他の学校の研究発表は質が高いだけでなく、熱意を感じました。交流会ではそんな人たちと和やかに交流することが出来ました。巡検先では、地質や化石について学び、それと合わせて香川の偉人である、平賀源内について知ることが出来ました。来年の総文祭も頑張りたいと思います。



自転車部 3年5組 筒井 楓 練馬区立大泉北中学校出身

私は自転車部に所属しており、早朝から自主練習をしています。とても辛い練習ですが、それを耐えながら鍛えています。全国大会で私が出場したレースは、ポイントレースという種目で、多数の競技者が一斉に走ります。周回ごとに順位に応じてポイントが加算され、最終周回ではポイントが2倍になります。遅れることはできませんが、最終周回に抜け出す力を残さなければならないため、相手との駆け引きも重要になります。上手なペース配分と今までの練習の成果もあり、全国大会で3位に入賞することが出来ました。これからは、自転車競技だけでなく、進路に向けても頑張っていこうと思います。



ソフトテニス部 3年2組 藤原 泰 都留第二中学校出身

自分は、ソフトテニス部で頑張っています。練習は個人よりチームとしてのまとまりを重視する方針で、部員が一体となって練習をしています。テスト前には全員で集まり勉強会を開いてもらいます。一方、試合では、今年の全国大会にダブルスで出場しました。4回戦まで進出しましたが、思いのほか対戦相手が強く、勝利することはできませんでした。しかし、今までやってきたことをすべて出し切ることが出来たので、悔いはありませんでした。



すいれき太鼓部 3年6組 近藤 小春 甲府市立東中学校出身

前の年の12月、1つ上の先輩が総文祭山梨県大会で県代表となり、置きみやげとして全国大会への切符を貰いました。残った私たち部員は、日本一になるのを目標に、練習計画を立てて頑張りました。全国大会という人生で1度あるか無いかの大舞台上、太鼓を叩くことが出来るという機会に、みんな感激しました。結果的には入賞はできませんでしたが、全国の太鼓が好きな人たちと関わって、良い刺激を受けました。



ライフル射撃部 3年1組 駒井 修斗 笛川中学校出身

ライフル射撃は、日ごろの練習が大切です。他の部員とお互いに射撃について話し合ったり、確認をしたり、技術を高めあっています。全国大会では、周りの選手は凄腕ぞろい、少しでも得点が下がれば、順位は1段も2段も下がってしまいます。その緊張の中でも、正確に射撃することのみに集中することで、高得点を取るという雑念を払いのけ、自分のベストを尽くすことを目指しました。結果は35位と振るいませんでしたが、全国の強敵と対戦することができて、良い経験になりました。

